

全国頸髓損傷者連絡会徳島支部発足にあたって

徳島頸髓損傷者連絡会代表 江川尚志

1. はじまり

2006年の秋、徳島の頸損者Nさんに誘われて、二人で四国頸損の集いに参加したのが全国頸髓損傷者連絡会（以下、全国頸損会）との出会いでした。その際、もう一人の徳島の頸損者Aさんに出会い「三人になったな。徳島で会をつくろうか。」と、意気投合したのが徳島頸髓損傷者連絡会（以下、徳島頸損会）の最初の一步でした。

その後、毎年のように四国頸損の集いに参加し、愛媛や香川、高知の皆さんと仲良くなり、大阪や兵庫支部の皆さんの活動に刺激を受け続けました。徳島でも何度か会合を持ち、話をしては「寄って話すのはええなあ。徳島の会はどうするで～」とお茶を濁していました。気がつけば、香川頸損会が立ち上がっていました。先を越されてしまいました。

2. 徳島頸損会の発足

その煮え切らない私の背中を押したのが、新しい仲間との出会いでした。

2013年の秋「徳島で会をつくろうという人が出てきた」と電話がありました。私は参加できなかった四国頸損の集いで、徳島から新たな参加者があり、その気運が高まったということでした。

行ってみれば、なんと9人もの頸損者が集まりました。初めて顔を合わせ、話をするうちに盛り上がり、ぜひ今後も続けたいということになりました。こつこつと声をかけ、仲間をつないで行ってくれたNさんやAさんのおかげだと思いました。

そして、2014年3月に徳島頸損会（愛称、あわケイソنز）が発足しました。そこでは、定期的に会を持ち話をしたい、みんなで食事やお出かけをしたい、頸損特有の悩みや困りごとを相談したい、などの声が上がりと活動していくことになりました。

- ・例会（隔月程度）…近況報告と情報交換、食事会など。
- ・行事（年二回程度）…BBQ、施設見学（大塚美術館など）、新年会（カラオケ）など
- ・会員の活動報告…バリアフリー体験、ロボットリハ体験、トールペイント教室、居宅訪問など
- ・メーリングリストの利用…連絡、情報交換



2014/05 春の行事 BBQ

3. 徳島支部の発足

徐々に会の活動を積み重ねていくなかで、全国頸損会総会に参加し、機関誌「頸損」を紹介してきました。そこで、更に情報を得たい、多くの人と交流し経験を学びたいという声があがってきました。

2017年5月に全国頸損会四国大会が香川高松で開催され、愛媛、香川とともに徳島も準備、運営に参加することになって、やっと次の一歩を進めることになりました。

2018年3月 三月総会で報告。連携して活動を進めていくことを内部で再確認しました。総会で呼びかけて、3名の徳島支部入会希望がありました。手分けしながら、みんなで協力して徳島での活動を進めていければと思っています。Nさん、Aさんらとつないでいった小さなつながりをこれからも大切にしていきたいと思います。

徳島支部の発足にあたっては、四国の頸損会の皆さんから毎年のように、貴重な助言と励ましをいただきました。また、他県の支部の皆さんや事務局の皆さんにも長年にわたって支援をいただきました。重ねてお礼申し上げます。また、今後ともよろしくお願いします。



2017/05 全国頸損会四国大会



左3人が徳島支部会員